

3 がっひかりごう

令和3年3月1日 輝保育園

無事に今年度の最終月を迎えることができました。卒園や進級を控える子どもたちの1年の成長を振り返ると、感慨深いものがあります。昨年を思い返せば、新型コロナウイルスの足音が聞こえ始めていた時期でした。この1年、ガラリと変わった日常の中で、「ちゃんと手洗いせんとね！」と言って、丁寧に手を洗う子、「強い体を作るよ！」と上着を脱いで自ら園庭で体を動かす子の姿を見てきました。子ども達から、勇気をもらうことが多かった1年です。最後の1ヵ月、体調に気を付け、楽しい思い出を作っていきます。



【お礼】

過日の生活発表会では、ご協力頂きありがとうございました。

この1年間の経験を通して、感じた事、考えた事、身に付いたことを様々な形で表現しました。

様々な葛藤を乗り越え、成長した姿をみせてくれました。

★ 感謝 ★

保護者の皆様に見守られながら、子ども達はのびのびと園生活を送り成長することができました。

また、職員も保育者という立場だけではなく、共に成長しています。

これからも保護者の方々に安心して頂ける保育をしていきます。

1年間、ご協力ありがとうございました。



= 3月の行事予定 =

- 5日(金) 避難訓練
- 11日(木) お別れ会
(雨天時は16日(火))
- 20日(土) 卒園式
- 26日(金) 身体測定・誕生会
- 31日(水) 修了式

《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 入学前に身に付けておきたいこと ☆☆

2. 思いやり、友達との関係など
子どもが自ら進んで挨拶ができるように意識付けをしていきましょう。

そのために、挨拶を交わす機会を増やしたり、挨拶を自らできたらほめたりしましょう。

また、親が気持ちの良いあいさつの手本を示すことも必要です。

挨拶をきっかけとして人とかかわる経験を積むことで、相手を思いやる気持ちをはぐくんだり、友達との望ましい人間関係づくりをはぐくんだりすることができます。

- ◆ 最後に、親が身に付けておきたい子どもへのかかわり方のポイントをいくつか示しておきます。

- 手伝いのやり方などは手本を見せて、実際にさせてみましょう。

- 子どもができないことも叱らずに励まし、まずは最後までやらせてみて、少しずつステップアップしながら根気強く時間をかけてさせましょう。

- 子どもが自分でできるようになったら言葉や表情・態度で大いにほめましょう。

- 子どもは成功や失敗を経験して「生きる力」を身に付けていきます。友達のかかわりや様々な体験に対して、親自身の言動が、子どもに失敗させないための「転ばぬ先の杖」とならないよう留意し、見守っていきましょう。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

=== ナース・レポート ===

《 感染症アラート 水痘（みずぼうそう）が本格的な流行に 》

2021年2/1～2/7の1週間で水痘が、石川県と島根県で本格的な流行にあると発表されました。

水痘の潜伏期間は約2週間で、感染力が非常に強く、免疫のない人はほぼ100%感染します。

症状の特徴といえば全身の発疹であり、この発疹は最初に頭皮、次いで体幹、四肢の順に出現しますが、体幹部の発疹数が最も多くなります。

発疹は通常かゆみを伴っており、紅斑 → 丘疹 → 水疱 → 痂皮へと変化していきます。

数日にわたって新しい発疹が次々と出現するので、急性期にはそれぞれの段階の発疹が混在することも水痘の特徴の1つです。

2014年の10月から水痘ワクチンが定期的予防接種となりました。

発症予防にはワクチン（2回接種）が有効であり、標準的な接種期間として1回目を生後12ヵ月から15ヵ月に達するまでに実施し、そしてその後、6ヵ月から12ヵ月の間隔において2回目の接種が行われます。

定期接種期間（公費で受けれる期間）は決まっており、3才の誕生日前日までとなっています。

水痘の感染発病を防ぐことのできる唯一の予防手段はワクチン接種のみです。

接種スケジュールを確認し、接種忘れのないようにしましょう。

こどもよす

たんぼぼぐみ

0才児



先日、遊んでいるときに男の子の足が引っかかり、女の子が転んでしまいました。すると、男の子はすぐに立ち上がり、女の子の頭を撫でて、立たせてあげようとする姿がありました。愛着関係を築くことから始まった一年間。入園したすぐにコロナでの自粛があり、自粛明けからは周囲の環境に慣れず、不安ばかりでたくさんの涙がこぼれました。少しずつ園での生活にも慣れてくると、笑顔が見られるようにもなりました。悲しくなったり、寂しくなったりすると両手を広げ、抱っこしてと求めてくれる姿に信頼関係を築けていることが感じられました。今では、伝えたいことがあると、「せんせい！」と声を出し、自分の思いを身振り手振りで一生懸命伝えようしたり、お友だちと関わる楽しさを感じ、同じ遊びを共有出来るようになりました。

たんぼぼぐみ

1才児



この一年間、しっかりと自己主張をするようになったり、自分で出来ることをやってみようしたり、日々成長してきた子どもたちです。身の回りのことを自分でやってみようとする意欲が見られたら、そばで見守り、出来ないところと一緒にしたり、さりげなく手伝ったりしながら、少しずつ出来ることを増やしてきました。それぞれ、やってみようと思うようになる時期、思いの強さの違いはありますが、しっかりと自分でやってみようという気持ちが育っています。たんぼぼ組での生活も残り1ヵ月となりました。今月も子ども同士のかかわりを見守ったり、保育士も参加したりしながら、一緒に遊ぶ事の楽しさをたくさん経験していきます。進級に向けて、すみれ組の部屋で遊んだり、幼児室のトイレを使ってみたりする経験を少しずつ重ねて慣れていこうと考えています。

すみれぐみ

2才児



過日、雪遊びをしました。真っ白な世界に目を輝かせ、大喜びの子どもたち。雪だるまや、雪の団子を作り、雪の冷たさ、ふわふわの雪が丸めると固くなることなど、色々な発見を楽しんでいました。すみれ組の生活も残り1ヵ月となりました。コロナでの自粛など、様々な不安を抱えてのスタートとなった今年度でした。進級、入園時は「出来ない」が多かった子どもたちですが、成功体験を積み重ねることで、自信を持ち、意欲的に取り組む姿が見られるようになりました。今では「先生、出来たよ！」と輝いた表情を見せてくれます。三点支持も、ご家庭の協力もあり、ずいぶん正しく持つことが出来るようになりました。まだ、中指がでてくる子もいます。ご家庭での食事の際に、引き続き声掛け、見守りをお願いします。一年間ご協力ありがとうございました。

ちゅうりっぷぐみ

3才児



発表会では夫々が精一杯の力を発揮し、「楽しかった」との感想も聞かれ嬉しく思いました。温かい応援をありがとうございました。こども達と過ごした1年間。玄関から一人で登園できるようになった子、お箸や縄跳びが上達した子、相手の気持ちを考えながら遊ぶことが出来るようになった子など日々、沢山の「できた！」が溢れていました。その喜びは自信へと繋がり、心も強く楽しくなっていく姿がとても印象的でした。頑張る友達を応援する温かさを持ち、同じ1つの活動をクラスみんなで楽しめるこども達です。いつまでも思いやりの気持ちを大切に、これからも元気に大きく心優しく育っていかれることを願いながら、残り1ヵ月、楽しい思い出を作っていきます。1年間、ご協力頂きありがとうございました。

ばらぐみ

4才児



発表会では、劇遊びや合奏をステージの上で堂々と表現する姿を見て頂けたと思います。家族の方に見守られる中で、恥ずかしさを感じながらも仲間と乗り越えたこの経験は自信に繋がった事でしょう。いよいよ4月から年長さんです。パワフルで好奇心旺盛な年中児の子ども達は、保育園の手本となる存在に変わります。既に意識し、見通しを持った行動が身につき始めています。例えば、体育教室の始まる前は、整列していつでも始められるようにしたり、保育者が前に座ると話が始まる事が分かり、会話を止めて気持ちを切り替えています。相手の目を見て聞く力、最後まで話を聞く力もつき、日々成長を感じています。残り1ヵ月、4才児期に身に付けたい自律の力を最大限育みながら楽しく過ごしていきます。1年間、ご協力いただきありがとうございました。

ひまわりぐみ

5才児



生活発表会で友だちと意見を出し合い認め合いながら、力を合わせて一つのものを作り上げたことで、充実感や達成感を感じることができました。さらに、クラスの団結力もより一層高まり、戸外遊びでは友だちを誘い合ってドッジボールや鬼ごっこなどの集団遊びをよく行っています。以前はチーム分けをする時に保育者に頼っていましたが、「誰がチーム分けするの」、「じゃあ、私」、「いいよ」と自分達で行うようになりました。その一方で、就学への不安を感じている子もいます。プレッシャーをかけるような否定的な言葉かけは避け、「小学校でも大丈夫」と良いところをたくさん褒め、自信をもって就学できるようにしていきたいと考えています。ご家庭でも自信をもって就学できるようサポートしていただければと思います。一年間ありがとうございました。